

インフラ維持管理・更新・ マネジメント技術

プログラム ディレクター
藤野 陽三



社会基盤ストックとは

社会的共通資本

「みんなが使う、みんなのもの」

自然環境

大気，水，森林，河川，湖沼，
海洋，沿岸湿地帯，土壌

社会的インフラストラクチャ

道路，交通機関，上下水道，港湾，
電力・ガス 所謂「社会資本」

制度資本（システム）

公共政策，教育，医療，金融，司法，行政



宇沢弘文先生



「人間が人間らしい生活を送るためには必要な大事業」

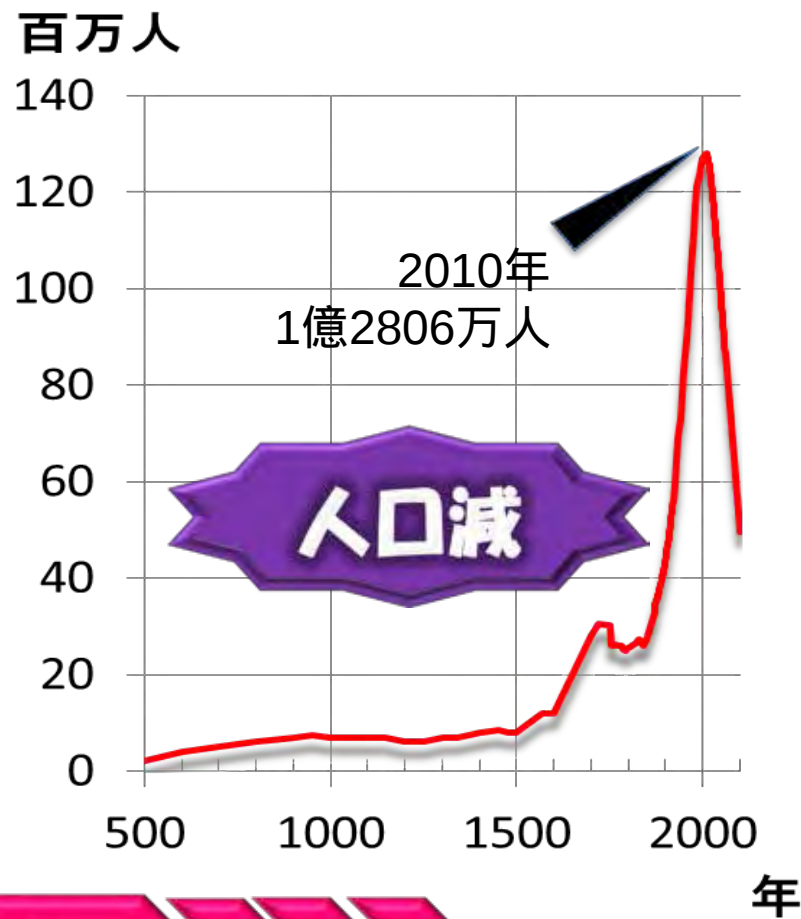
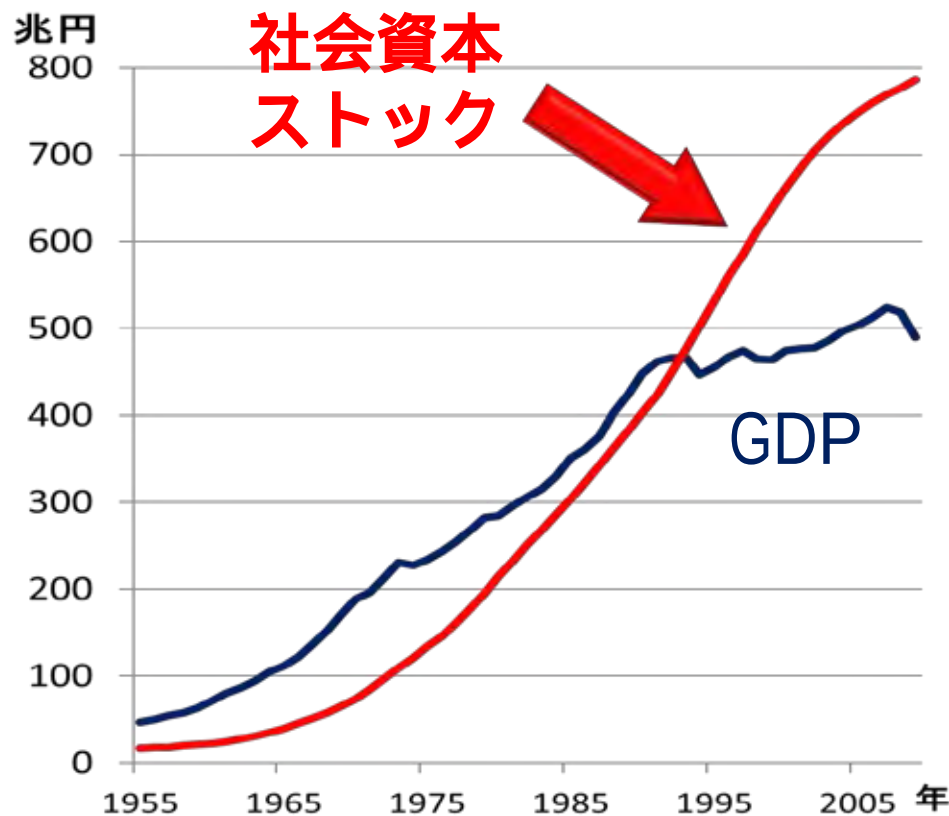
「インフラぐらい，それを成した民族の資質をあらわすものはない」



塩野七生
(ななみ)
さん



増え続ける社会基盤ストック



フロー経済からストック経済に



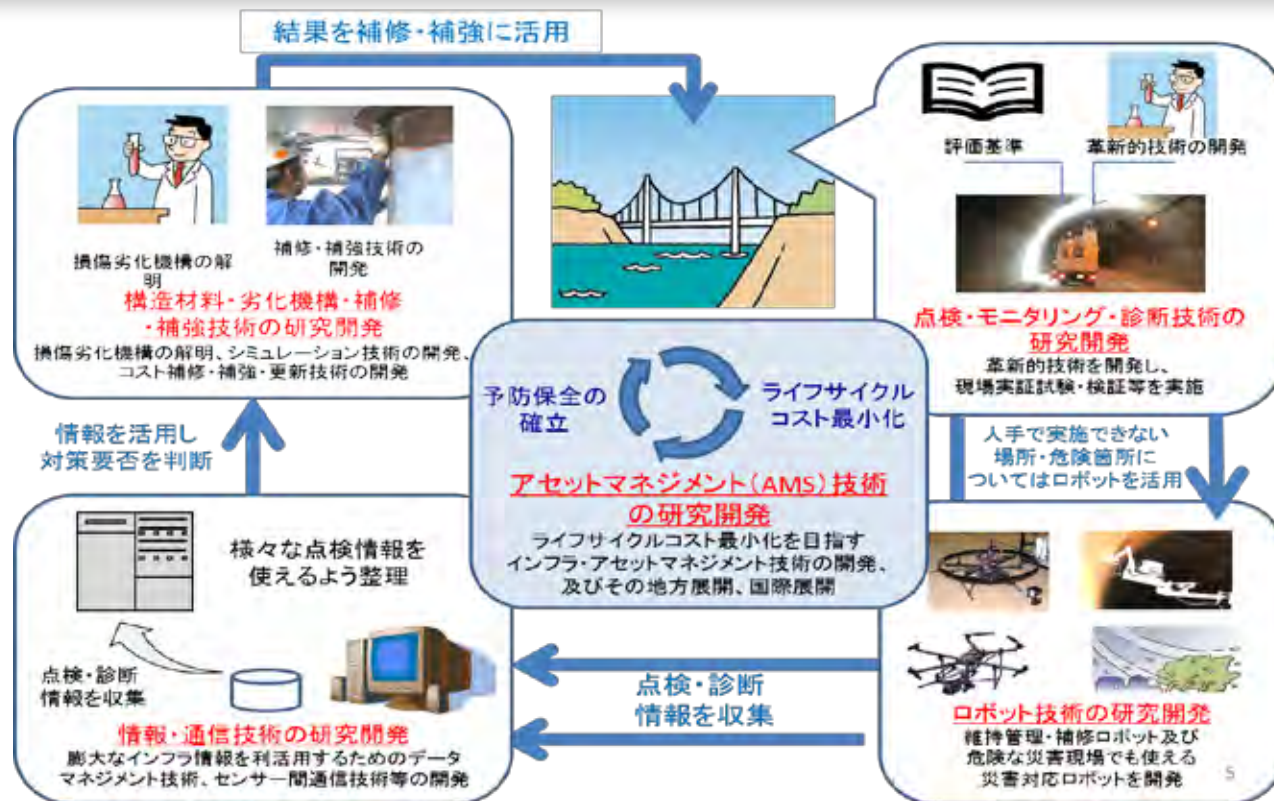
インフラ維持・管理の現状

- 道路インフラの**近接目視**点検(5年に一度)の義務化
- 全国70万の橋梁, 1万のトンネル, 標識などの付属物も
まともにやればその費用(市場)は3000 - 5000億円のオーダー
- 大規模更新・修繕のコストは高速道路だけで**4兆円/15年**
- 大規模更新は新設の数倍から
(場合によっては)数十倍かかる。
全国の道路だと**100兆円**。
港湾空港, 河川, 農水...
あわせれば**数百兆円**?
- 科学的に, 先端技術を使って,
いかに点検費用, 更新費用を減らすか?
決して見える利益を生むものではないが,
大きな社会的貢献 20%減は一つの目標



笹子トンネル事故(2012年12月)

SIP「インフラ維持管理・更新・マネジメント技術」



社会実装

国際展開も視野

- ・ 各種基盤技術による効率的なマネジメント技術を構築し、維持管理ガイドライン/マニュアルを整備
- ・ 全国の大学と連携し、地方自治体へ展開・実践